

# なごみだより NO.23

発行/社会福祉法人なごみ福祉会 なごみだより編集委員会 〒214-0003 川崎市多摩区菅稲田堤3-9-2 ●TEL 044-944-2022 ●FAX 044-945-2570

## contents

### 今号のテーマ

## 「社会福祉法人 なごみ福祉会の課題」

- 巻頭コラム 新理事長方針・考え方
- なごみ福祉会40年に向けての歩み
- 事業部トピックス
- 第2回実践報告会のお知らせ
- 花笑の会から会員募集のお知らせ



社会福祉法改正のもと、飯島理事長、梶山副理事長の新体制で出発した「なごみ福祉会」の課題と意気込みを中心に編集しました。2021年4月に、法人は設立40周年迎えます。「なごみ40年に向けての歩み」を何回かに分けて連載します。

### なごみだより編集委員会

本部/市村護郎（理事）保育事業部/菅原依子（なごみ保育園園長）せせらぎ沿線事業部/鈴木智浩（なごみグループホーム管理者）地域療育事業部/小田嶋幸子（療育相談でんでん虫）ここから事業部/栗田寿子（グループホーム・短期入所ここから管理者）夢花事業部/寺内 建（デザインアドバイザー）



巻頭  
コラム

## 法人としての課題

### 法人理念を保育、障害福祉でともに追求しましょう (法人事業についての基本的考え方)

#### 理事長 飯島 克巳

なごみ福祉会は、保育と障害福祉を事業の大きな二つの柱として運営経営されています。それぞれの事業の重要性について基本的な考えを述べさせていただきます。

なごみ福祉会の法人理念は、「障害のある子・人も障害のない子・人もともに地域で一緒に生きる」ことの追求です。法人事業、法人職員にはそのことに貢献することが求められています。この理念は法人内の障害福祉サービスだけの理念ではありません。障害のある子・人と一緒に暮らせる環境は、全ての子・人にとっても暮らしやすい環境であり、地域社会だと考えています。

よく言われることですが、障害のある人が利用できるように設置した駅舎のエレベーターは障害のある人だけではなく、妊婦や高齢者にも利用され、人に優しい地域社会作りに貢献しています。同じように障害のある子ど



左写真  
保育事業部  
サッカー大会

もの保育の中での気づきや配慮は、全ての子どもの個性への気づきと配慮に繋がるはずですが、何よりも一緒に育った体験は、この法人の理念実現のために大きな役割を果たすでしょう。

法人事業は保育から始まっていますが多様性をもつ子どもの保育事業の意義は極めて重要です。

片や、障害福祉事業は、障害のある・ないを分けるところから始まっています。従って、極端な言い方ですが単純な事業の繰り返しからは法人理念が求めている「地域で一緒に暮らすこと」に繋がらないと考えています。

障害者総合支援法は、障害福祉サービスの支援は「共生する社会を実現するため総合的かつ計画的に行われなければならない」とその基本理念を述べています。常に意識的に追求して行かなければならない課題なのです。

障害福祉に従事する職員には是非法律の原文を読んでもらいたいと思いますが、意識的な追求ができていないのかできていないのか、私たちの事業評価の重要な視点にもなるでしょう。そして評価するのは、本人当事者であり、そのご家族、そして応援してくれている後援会の会員の皆さん、地域の皆さんです。謙虚に向かい合いたいと思います。

現在法人には積み残しの課題や社会福祉法人改革に伴う新たな課題など多くの難問があります。

皆さんとともに力を合わせて、未来に向かって行きたいと願っています。



(文・理事長 飯島 克巳)

# なごみ福祉会 四十年に 向けての歩み。

なごみ40年の歩みを、何回かに分けて連載します。23号は、無認可「共同保育所なごみ園」です。設立当初からご苦労いただいた、当時の関係者に「思い出話」を書いていただきました。

次号は、法人と設立となごみ保育園づくり時代を計画しています。写真、思い出を編集委員会宛てに送っていただければ幸いです。

法人40周年記念誌発行の準備とともに、大きく成長、発展した「なごみ福祉会」が、“初心”を踏まえより発展した活動が展開されることを期待したいと思います。(理事・市村護郎)

右写真

無認可の共同保育所「なごみ園」  
1973年当時



## 法人への道

理事 池田 弘嗣

小田急線生田駅より徒歩4～5分の所に当時「幼児通園の家」と称した無認可保育所なごみ園がありました。

当時のなごみ園は、大地震、台風がきたら何時倒れてもおかしくない古い借家で、中に入ると床が傾き、ボールを置けば転がりだす始末です。

ある職員に世田谷通りに面しているの、せめて外観だけでも良くする為、ペンキを塗ってくれないかと頼まれました。日曜日毎に塗り始めたのですが、これが大変な仕事で、途中で投げ出すわけにもいかず後悔したものです。

なごみ園は当時としては進歩的な統合保育を行っていました。障害のある子もない子と共に保育し成長させるというこの考え方は大変素晴らしく新鮮でした。但し、日々の運営はお金が無く火の車で職員の給与と支払いを心配する有様です。

この為、親御さん、ボランティアを含む関係者の人達は運転資金稼ぎのバザー用品集め、その値付け、バザー開催のチラシ配り、他のイベントでの出店、寄付金集め園児の昼食作り等で運営を支えました。

それでも職員の給与は薄給で、お金がないので毎日ごぼうの煮付けを食べていると独身男性職員から聞いた時には愕然としました。

この様に熱意と信念を持った人達も運営方針の違いから全員、園を去り親そして子ども達だけが残りました。

閉園も頭を横切るこの様な時、社会福祉法人を目指すという条件で新体制が生まれました。経済的状況は相変わらず厳しい中、新体制の人達は統合保育と法人化に向けての取り組みを始めました。親御さんとボランティアの人達もバザーの開催、署名運動、川崎への陳情、新保育園の用地探しなど協力、支援を行い、法人化を成し遂げたのです。

多くの人達の協力、支援、熱意そして努力の結果で社会福祉法人なごみ福祉会が設立され、なごみ保育園が建設されました。

私の娘は一才十一ヶ月で、旧なごみ園でお世話になり今は四十三歳になりました。この間に、なごみ福祉会は多方面、広域で保育、そして障害福祉活動を広げてまいりました。

無認可保育園から法人化に至る間に培われた理念を大切に、大きくなった法人がその規模に見合った運営方法で今後も福祉事業に貢献することを願っています。



1.



2.



3.



4.



5.



6.

1. 父母、先生たちのドラエモンのお出し物
2. なごみ園・卒園式
3. 公園にお散歩
4. 園でのおやつの時間
5. なごみ園・入園式
6. なごみ園の外観

毎年発行している  
なごみ福祉会法人  
パンフレットから  
転載

## 故 小西弘昭初代理事長 挨拶

2012年作成「法人パンフレット」より

社会福祉法人なごみ福祉会は、1981年(昭和56年)に認可され、同時に認可保育園「なごみ保育園」を設立・運営することになりました。

しかし“なごみ園”という無認可の保育所の8年間にわたる前史がありました。

当時は、行政の支援もなく、行き場のない障害児を、家族とスタッフが支える苦難の共同保育でした。福祉事務所からの入園要請に応えたのは、川崎市における障害児受け入れに対応した保育園の嚆矢ではないかと自負しています。このため(\*障害児を受け入れるところがないため)近隣に移住された方も多数にのぼりました。

(以下略)

## 飯島克巳理事長 挨拶

2018年作成「法人パンフレット」より

法人活動の始まりは、1973年5月川崎市多摩区生田に谷口英子さんというお母さんが、障害のある子ども地域のほかの子どもと遊ばせたいという願いから自宅を開放して始めた遊び場作りからです。当時、障害のある子は保育園や幼稚園に入れてもらえませんでした。障害のある子はお母さんと家の中で過ごすしかなかった時代です。当初、障害のある子だけの保育の場に徐々に地域の子も達も参加して統合保育の場となりました。それが現在のなごみ保育園となりました。その後、法人は保育園を卒園した障害のある子が抱える課題に取り組み、障害福祉事業も拡大して行きました。

障害のある子を一人ひとり大事にして育てる保育は障害のない子を大事に育てる保育に繋がります。私たちは障害のある人が生き活きと暮らせる社会は誰もが安心して暮らせる社会であると信じます。これからも「障害の有無にかかわらず地域とともに」を法人活動の理念としていきます。この理念の実現は地域の皆さん、関係者の皆さんと一緒に取り組む課題だと考えています。

どうぞ、ともに。



7.



8.



9.

7. 運動会風景    8. 動物園に遠足  
9. 近くの神社で遊ぶ子どもたち  
10. 芋掘り    11. クリスマス会  
12. 将来はチアリーダー？



10.



11.



12.

## なごみ園のおもいで

志岐 チエ子

なごみ園のおもいでを語るほど何もしていなく、とても困っています。

余り、役に立たないと思いながらです。

なごみ園の誕生は、谷口先生が、障害を持ったお子さんを、地域でみんなで過ごせる場が欲しい、という願いの下、努力されて昭和48年4月誕生させました。

私は、3回位しかお会いしていないのですが、体調を崩されて休まれていました。

我家の長男も、くしくも昭和48年4月生まれでした。

51年4月、安田さんに偶然お会いし、なごみ園のことを知り、すぐになごみ園に見学し、生田駅のそばの古い建物、傾きかかっているように見えた、、、が。子の状態が自閉症という障害だろうと、本から得た知識で確信を持ち、医療（相談）機関に通い始めたころだったが、何をしたらいいか模索していたころであったので、ありがたい情報であった。

子どもたちの様子や、かかわる人たちの表情や動きにホットした安心感を持ち、仲間がいると思ったのだと感じたのだと思う。

すぐ通園することにした。なごみ園に着くと、まっすぐ一段低い部屋の敷居の上に立って、近くを走る小田急線の通る電車に大喜び！定位置となった。

学生さんや専門職の人たちで子育て中の主婦の人、他。ほぼボランティアであった。記憶に間違えなければ、払っているかたも自給200円ということだった。

建物も老朽化していて部屋の端からボールを転がすとあっという間に反対側に到着するという、、、笑い話のようなことも。後日、柱が腐っていて土台に届いていなかったこともわかり、補修をするが、その場所でバザーを行い、多くの人が集まったと思うと、知らなかったから出来たということでした。

なごみ園に通っている頃、私は本当に通園する子の一人の親でしかなく、大変な思い、苦労話は覚えていないのが実態です。大変な運営の渦中にいた方々の苦労、努力は想像の範囲でした。私には、多くの方との出会い、話から障害児の親として育つ基礎を教え、考えさせてくれたところであり、一人ではないのだということを実感させてくれ、給食ボランティアはたのしかったし。

なごみ園がなごみ保育園になり、その後保育園の対象でない、障害を持つ子たちの事、我が家も小学生になっていたのも、そのことの方がどうなるのか、切実であった。

そのような思いが、「親と子のでんでんむしの家」の設立につながり、運営が大変だった分、当時、家の子が一番年長だったこともあり、でんでんむしの家の活動に少しずつ参加していった。

花笑の会 会長 志岐 チエ子

## 新任理事 ご挨拶



### 保育園生活の中で

理事 菅原 依子

30年度よりなごみ福祉会理事となりました、なごみ保育園の菅原です。

理事長をはじめ理事の先生方、監事の方々にいろいろ指導をしていただきながら、なごみ福祉会の力に少しでもなれるよう日々勉強をしていこうと思っております。宜しくお願い致します。

私の、大好きななごみ保育園の思いを少し紹介させていただきます。

あっ？今日のお昼はカレーだ！・・・あっ？雨のにおいがしてきましたよ。

気持ちいい風だね。お日様暑いね！・・・

大人は文字から情報を収集し生活しています。

子ども達は自分たちの体験、生活経験の中から五感で感じて情報を収集したりいろいろな事を学んでいます。

文字を覚える前の今の時期に沢山の経験、体験が出来るようにと毎日過ごしています。

暑い夏にはエアコンだけに、頼るのではなく、水分をとり水遊びをたっぷりしながら暑さを感じしっかり汗をかけるように、寒い冬にも外に出て体を動かし寒さを肌で感じながらも動けば温まることを経験しています。

また異年齢児保育の中でお兄さん、お姉さんがやっていることをみて憧れてチャレンジして自分のものにしていきます。

そんな今を保育者にしっかり援助、見守ってもらう中で自信となりやってみようという意欲につながりチャレンジする力をつけていきます。

満足いくまでの体験をしたり友達同士刺激し合いながら一人一人の「楽しかった」が実現できるような環境をつくっています。

なごみ保育園ではそんな子ども達の今をおたよりや毎月の園だよりにてお知らせしています。

また年に一回のお誕生月にはその子の頑張っていること楽しんでいることを紹介しています。職員はもちろん、園児の父母みんなでなごみの子ども達の成長を喜びを支えていきたいという考えからです。

卒園証書は一人一人の育ちを書いています。大きくなり何かにつまずいたとき役に立つようにと思いを込めてつくっています。

一人ひとりが主役です。子育ての一番の応援団として常に日々子どもたちを、未来の子どもたちを応援していきたいと思っています。

理事・なごみ保育園 園長 菅原 依子

## 全体テーマ 「子どもと障害者の人格と育ちを尊重するとりくみ」

### 社会福祉法人なごみ福祉会 第2回実践報告会

平成31年 1月19日(土)

とき

午後1時～4時45分

多摩川あゆ工房ホール

会場

当日の問い合わせ 多摩川あゆ工房  
川崎市多摩区中野島4-3-28 TEL 044-911-1315

ぜひお申し込みください



▲前回の実践報告会

### 工房製品展示即売！

当日はあゆ工房の焼き菓子や  
夢花工房の木製品などの展示即売会もあります！

## 事業部 トピックス

各事業部の近況をご紹介します

### ここから事業部 「第4回ここからまつり」

今年もやります！ここからの名物まつり！！『ここからまつり』！！

今年で四回目を迎えることとなりました。ここからまつり。私はまつり実行委員長の小林と申します。今回のコラムは私が責任をもって書かせていただきます。岸本ここから事業部長の無茶ぶりとは内緒で…。私がクジ引きで委員長になったことは内緒で…。

第四回目ここからまつり。今回も利用者の皆様、利用者のご家族の皆様、法人の皆様、そして地域の皆様のおかげで開催する運びとなりそうです。ありがとうございます。さて今回のここからまつりの内容ですが、ここからの児童デイサービスの子供様達によるステージ発表や同じくグループホーム入居者様のステージ発表等々があります。また抽選会もあり、一等賞はディズニーランドペアチケットになっています。地域に根ざし開かれた施設を目指していることもあり、ここからグループホームの見学会も予定しています。

また模擬店ですが、今回ご当地グルメを考えました。一押しは『せんべい汁』！！『おとこの台所』という

### 地域療育事業部 「川崎市教育委員会へ要望書を提出してきました」



でんでん虫が公益事業として行っている学校支援が今後も安定して継続出来るよう、評議員の井口さん、理事の市村、渡邊、相談員の栗原で平成

30年8月1日に教育委員会に出向き、予算の確保についてのご相談と要望書の提出をしてきました。

対応して下さった学校教育指導課の稲葉課長、加藤課長には、でんでん虫の活動の実際の様子も情報として届

いており、これまで行ってきたことには一定の評価もしていただきました。また、将来的に確実な予算の確保につながるよう、明確な金額の表示をするようご助言をいただいたり、広報活動の一つとして定期的に行われている特別支援級担当者会議の場にパンフレットを置いて情報提供をして下さるとのご提案もいただきました。



(子ども相談室でんでん虫 渡邊紀子 栗原敦子)

# 第4回

# ここからまつり

今年で4回目を迎えたここからまつり。私たちのことを地域の皆様へ知っていただきたくて今年もいろいろな出し物を考えました。「どんなことをやってみようか」と気になったらぜひ遊びに来てください。

**11月23日**  
勤労感謝の日

児童ステージ発表  
**よっちょれソーラン**

グループホームステージ発表  
**民謡朗唱・ピアノ演奏**

その他 作業所販売 家族写真撮影  
グループホーム見学会  
飲食物模擬店 抽選会 など

詳しくは裏面をご覧ください。

ここから  
〒157-0061  
東京都世田谷区北鳥山3-11-5  
TEL: 03-5315-7887 (代)  
FAX: 03-5315-7885

アクセス  
東武東横線北鳥山駅北口から徒歩10分  
隣に北鳥山なごみ保養園が併設されています

※駐車場がございますので、お越しの際は公共交通機関をご利用いただくか近隣のコインパーキングをご利用ください。

社会福祉法人なごみ福祉会 ここから  
〒157-0061  
東京都世田谷区北鳥山3-11-5  
TEL: 03-5315-7887 (代)  
FAX: 03-5315-7885

## 保育事業部 「三宿の杜なごみ保育園開園」

平成30年4月に開園をし、6カ月余りが経ちました。定員32名（0歳児から3歳児が8名）で現在31名の子どもたちが入所しています。

現在の保育園は、子どもたちもすっかり落ち着き、毎日近隣の三宿の森や公園に出かけ戸外で元気よく遊んでいます。散歩に出ると地域の方たちとよくすれ違い、挨拶をすると皆、温かい声掛けで子どもたちを、送り出してくれます。ひと遊び後、園に戻ると「これ見てー」と公園で拾った色づいた落ち葉や木の実を見せて嬉しそうです。緑あふれる世田谷の地域は、子どもたちの好奇心を満たし、自然の中で想像力を膨らませ、安心してあそぶことができます。

毎月、避難訓練を実施していますが、先月は初めて近所の円泉が丘公園まで避難しました。防災頭巾・ヘルメット姿での避難は歩きにくそうでしたが、その公園で顔

じみの近所の方たちに会いました。訓練中だとわかる子どもたちを褒めてくれたので、笑顔になり最後まで歩くことができました。助けていただくばかりでなく、出勤途中の職員が、ゴミ出し途中で体調が悪くなり倒れていた方を発見して、近所の方と一緒に救急搬送の手配をしたこともありました。地域にはお年寄りも多いので、何かの際は助けるようにしていこうと職員間で共有しました。

12月には中学校の体育館を借りて「ミニうんどう会」を行う計画で園内は盛り上がっています。子どもたちと家族の方との楽しい会になるように、職員が気持ちを一つにし、子どもたちのためにと取り組んでいます。

「共に育つ」子どもたちとともに若い職員も育ってきました。保育園のこれからの成長を温かく見守っていただければと思います。

（保育事業部 三宿の杜なごみ保育園 園長 鈴木 かおり）

## せせらぎ沿線事業部 「第25回あゆまつり」

10月6日、晴れ、最高気温29度。心配していた台風25号は日本海側に進み、季節外れの暑さの中、第25回あゆまつりが開催されました。当日は、50名を越えるボランティアさん、地域の多くの企業、近隣の皆様、多くの出店団体など、様々な方にご協力をいただきながら、500名を超えるお客様にご来場いただき、大きな怪我や事故等もなく、大盛況のうちに終えることが出来ました。各班の出店やつばめの会、スタンプラリーやステージでの発表など、利用者さんが主役になって活躍する場面がたくさんあり、利用者さんたちの、少し緊張したような、でも、誇らしそうで、嬉しそう、いつもとは違う表情を見ることが出来ました。

また、25回目のあゆまつりはこれまで多摩川あゆ工房に関わってくださった皆様とのつながりを大切にしつつ

新たなつながりも出来るよう「つなぐ、つながり」をテーマに掲げ、来場者の方々に、あゆまつりや多摩川あゆ工房に向けたメッセージを書いていただくブースを作りました。メッセージの中には、「毎年来ています！」や「活動を応援しています。」など、大変ありがたいお言葉がたくさんあり、地域の皆様や関係者の皆様に支えられていることを実感致しました。

あゆまつりは、利用者さん、職員にとって年に1度の大会ですが、地域の皆様にとっても、年に1度の大会になるよう、これからも地域とのつながりを大切に、活動を継続、発展させていけたら、と思っています。ご来場、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

（せせらぎ沿線事業部 片貝 晴香）

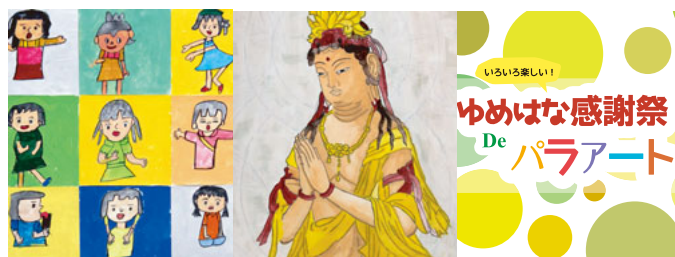
## 夢花事業部 「感謝祭Deパラアート開催」

今年の夢花感謝祭は利用者さんのアート作品展とコラボさせた「夢花感謝祭Deパラアート」として、9月8日土曜日に開催しました。今回のカフェ夢花のメニューには定番のちゃんこうどん、カレーの他にチヂミも加わり好評でした！アート展示は4会場に分け、全会場を回るとオリジナル缶バッジが無料で作れるスタンプラリーも開催しました。初の本格アート展で、企画から設営まで試行錯誤しながら苦労しましたが、アート好きな職員が自主的に準備に参加するなど…楽しみながらも完成度の高いイベントになりました。

作品は、立体オブジェやF15サイズのキャンバス作品書アート、子どもたちのカラージュ作品など個性溢れた

力作を展示。アート作品の中には、その後、パシフィコ横浜で開催された展覧会やミューザ川崎の展覧会にも選ばれました。

（夢花事業部 山本 健治）



# でんでん虫 クリスマス会

地域との交流や余暇支援を目的に、子どもから大人まで楽しめるイベントとして毎年開催しています。  
ぜひ遊びにいらしてください♪  
当日ご協力いただけるボランティアスタッフも募集しています。  
ご連絡お待ちしております。

## ▼お問い合わせ

療育相談でんでん虫  
TEL: 044-9111-2612  
FAX: 044-9111-0462  
Mail: dendenmushi@nagomi-fukushi.or.jp  
http://nagomi-denden.com/



**でんでん虫 クリスマス会**

2018年12月15日(土)  
13:00開場 13:30開始  
場所: 川崎市立中央支援学校 体育館  
(旧 川崎市立養護学校)

会費: 500円(当日受付にてお支払い下さい)  
※うわばき、ビニール袋をお持ちください

お問い合わせ  
社会福祉法人なごみ福祉会 療育相談でんでん虫  
TEL: 044-9111-2612  
FAX: 044-9111-0462  
Mail: dendenmushi@nagomi-fukushi.or.jp  
http://nagomi-denden.com/

当日お手伝いいただけるボランティアさんも募集中です!!



楽しいリズムあそびもあります♪

生演奏を間近で楽しめます!!  
一緒に踊りましょう!!

前列はゆっくり座れる  
マット座になっています。

サンタさんに会えるかも...!?

会場  
川崎市立中央支援学校 体育館  
<住所> 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-7-1  
<電車> 京浜東北線武蔵小倉駅 徒歩10分  
東急田園都市線・大井町線栗の国駅 徒歩10分

★会場に駐車場はございませんので予めご了承下さい

## 本部からお知らせ♪

### 2018年版法人パンフレットご利用ください

今年度も法人内の事業を紹介したパンフレットが出来ています。なごみ福祉会は、地域に根ざした事業をそれぞれの形で行っています。

各事業部ごと色分けされ見やすくまとめてあります。  
各事業所または法人本部に置いてありますのでどうぞご覧下さい。

### 法人本部事務室がリニューアルしました

なごみ保育園内にあるなごみ福祉会法人本部室をきれいに片付けました。なごみのスタートの頃の写真なども見られるよう置いてあります。

会議、打ち合わせなど使いやすくなりましたので、ご活用下さい。



花笑の会から会員募集のお知らせ

## 花笑の会 会員募集

なごみ福祉会の活動は花笑の会のみなさまのご支援に支えられています

花笑の会は、なごみ福祉会の「障害があってもなくても、障害の種別を問わず誰もが地域で当たり前の生活をする」との理念に賛同し発足しました後援会です。  
法人内の事業が円滑に運営できるように支援をしたいと考えて活動しています。

花笑の会 会長 志岐チエ子

### 後援会会費

【年会費】  
個人 一口 2000円  
団体 一口 5000円

会費は一年更新  
入会・退会は自由です。  
\*口数に上限はありません

### 会費振込先

【銀行ご利用の場合】  
川崎信用金庫 長沢支店  
(普) 0185019  
花笑の会会長志岐チエ子

【郵便局ご利用の場合】  
同封の振込用紙をお使い頂くか  
下記の振替口座までご入金下さい  
振替番号 00220-7-71044  
加入者名 花笑の会